

# 国立市立国立第四小学校 令和6年度 第3学年 授業改善プラン

教科	観点	課題	具体的な手立て・改善策
国語	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の中で、漢字を正しく書いたり使ったりすることができない児童が2割程度いる。(①)</li> <li>話の要点を捉えて聞くことが十分ではない児童が2割程度いる。(②)</li> <li>読書が好きな児童が多いが、2割程度の児童が本に親しめていない。(③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写の時間や漢字の単元などに意識して取り組ませたり、文章を書く活動を多く設定したりする。</li> <li>普段の生活や授業を通して、聞く姿勢や態度を指導する。</li> <li>本を紹介し合う活動を多く設定する。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
社会	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことから、新しい課題を見出し、追究しようとする態度が身に付いていない児童が4割程度いる。(③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題を見い出せるよう、日常の生活や社会に目を向けやすい資料やグラフなどを提示し、繰り返し問題解決型の学習に取り組ませる。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
算数	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算力は身に付いている児童が多いが、文章問題の読み取りが苦手な児童が3割程度いる。(①)</li> <li>長さやかさ、時間の量感が身に付いていない児童が3割程度いる。(②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろなタイプの問題を解く時間を多く設定する。また、国語の授業と連携して、文章の読解力向上に力を入れて取り組む。</li> <li>日常生活や数学的活動の中で量感を養うため、体験的な活動を増やす。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
理科	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験の結果から問題を見だし、その要因について考察することが苦手な児童が3割程度いる。(②)</li> <li>自然の事物や現象にすすんで関わり、問題解決しようとする態度が身に付いていない児童が多い。(③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決的な学習過程を重視し結果から考えられることを日常生活での事象と関連させて考えられるよう、発問を工夫する。</li> <li>多くの児童が興味関心をもてるような題材や発問の工夫を行う。また、どのように問題解決できるのか、その方法の提示を行う。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
音楽	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい音量で鍵盤ハーモニカやリコーダーを吹くことに課題のある児童が2割程度いる。(①)</li> <li>曲の感じを掴むことが苦手な児童が3割程度いる。(②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーダーの教本を取り入れて個別の指導を多くする。また、曲の感じをイメージさせることで、適した音量、音色での演奏ができるようにする。</li> <li>音楽を聴く時に、どこに注目して聴くのか、視点を明確に指導する。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
図画工作	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に意欲的で一生懸命取り組む児童が多いが、自分が表現しているものに対して自信をもてない様子の児童もいる。(③)</li> <li>作業の見通しが立たずに計画された時間の中で作品が完成させられない児童が1割程度いる。(③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞の授業などを通して、お互いを認め合う時間をつくる。頑張っているところや工夫は言葉にして具体的に伝える。</li> <li>新しい題材に入るときに全体の計画と歓声のイメージを伝えるようにする。また毎回の授業におけるゴールを確認する。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
体育	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力テストの結果から、走ったり、ボールを投げたりする運動感覚が十分に身に付いていない児童が2割程度いる。(①)</li> <li>技のポイントを理解し、自分や友達の良い動きを見つけながら運動できていない児童が3割程度いる。(②・③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動を授業に取り入れることで様々な運動感覚を身に付けさせる。</li> <li>技のポイントを、図や動画、実演等で視覚的に見せることで理解させる。また、ICTを活用することで、自分や友達の動きを振り返ることができるようにする。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		

